

モニター通信

市内公共施設見学によせて

市政モニター 橋本好郎

七月八日、つゆのさ中というのに珍らしく晴天、おまけに風まである。

全員が出席するものと思って集合したら、参加者は定員の約半数つくづく世の中の多忙に驚く。

都留市民といっても、井の中の蛙。何がどこやら一度もいったことのない所が多いので、珍らしさも手伝ってか、旅行にでも出掛けたいような気分にはせられた。

その昔起伏が激しく荒地が目立った蒼竜峡に、こんな立派な団地が出来、千人近い人々が生活している蒼竜峡団地の雄大さに、まず驚く。

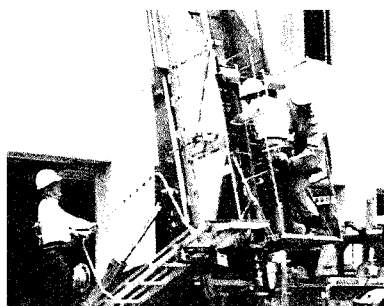
十日市場農道も立派だが、朝夕のラッシュ時に、車でこの道が身動きも出来なくなるとは、車専用の国道バイパスの早期開通を痛感する。

大学キャンパスは、戦時中コンクリート試験で十日ほど山梨大学に出入したことはあるが、全般的に見学したことは始めて。

世にも有名になった大学だけあって、立派なものだ。

また、学生がカラフルな装いで勉強している姿は別世界のようにだっ

はしご車に体験試乗するモニター



た。学長室や会議室についても、市役所のそれよりはるかに立派で豪華でさえあった。

消防署内で勤務している職員をみていると、軍隊経験のある私には、その頃にかえって身が引締る思いがした。

梯子車の二十四米試昇は初めてで、二度とないいい機会であった。この高さで所定の作業をするとなると、大変な度胸と絶え間ない訓練が必要だと感ずる。

心から職員のお祈りします。

厚原地区の圃場現場をみて、市内にこんなに広々とした所が残っていたことに感心した。
末永く農耕地として実のある利用が図られることを期待する。
田野倉地区はここ四、五年のうちに市街地を形成するのではないかと感ずる。小学校の建築は素晴らしいし、無害のゴミ焼却場建設

で人口も増えそうだ。
それに比べ、朝日地区ときたらあいも変らぬ姿に一抹の淋しさを感ずる。
日一日と市内全般に発展しつつある今の市政に影ながら支援して益々住みよい町づくりに精魂を傾けられんことをお願いして、思いつくままの一筆としました。

東桂小PTA三つの運動

連日のように少年非行がニュースで報じられ、非行の種類も変わり「遊び型非行」が多く、低年齢化もすすんでいます。

そこで東桂小学校では、非行防止を「あいさつをかわし合うこと」「他人の子どもの思いやること」「地域活動を育てること」この三つを柱にさまざまな標語をつくり市民みんなで考え、しっかりとスラムを組んで、早いうちに非行の芽を摘み取るように運動をすすめています。

(一)は入選者氏名です。

一、挨拶する運動

1. あいさつで心と心が
かよい合い
(十日市場 杉田美司)
2. あいさつでつくる人の輪
心の和

(学校 前田宣男)

3. あいさつは友達になれる
第一歩

(蒼竜峡 岡部 修)

4. あいさつをかわす笑顔に
心の輪

(桂町 藤江伸子)

5. 「こんにちは」今日は
私が先に言う

(桂町 高木康夫)

二、他人の子どもでも注意する運動

1. やめようねその一言が
子等すくう
(境 志村芳子)
2. みすこすな他人の子どもも
わが子と思え

(下夏狩 清水政雄)

3. 叱って下さい私の子ども
叱ってあげます
あなたの子ども

(下夏狩 清水文雄)

4. 人の子も我が子と同じ
小さな芽

(宮下 三枝鉄夫)

5. 未来へとはばたく子らに
愛の声ふれ合う心
明るい桂

(下夏狩 清水王也)

三、地域活動を育てる運動

1. 小さな手みんなでつなげば
大きな輪
2. 一人ぐらいたく思う心が
和をみだす
3. 心と心のつながりを親子で
のばそう地域の中へ
4. 育てよう地域ぐるみで
みんなの子
5. 手をつなごう明るい良い子
をつくるため

(十日市場 山本博子)